

認知症に関する活動計画(概要)

広島県作業療法士会では、社会貢献部内に認知症OT担当を設け、認知症OT推進担当12名と認知症OT地域支援担当26名で運営・活動をおこなっています。2026年度は「社会の情勢に合わせて認知症に関連する最新の知識や取り組みを学び、様々な領域で活躍できる人材を育成する」を事業目的とし、認知症生活行為支援指導者研修を2回開催予定、関係機関からの要請に基づいた会員の派遣、地域支援や研修など活動を通じた啓発活動を展開します。

研修「認知症生活行為支援指導者研修」

2025年度は、①「医療現場における認知症作業療法～認知症のある方が急性期医療を受けるとき～」、②「山間部における認知症疾患医療センターの役割～医師の立場から作業療法(士)に期待すること～」をテーマに研修を開催いたしました。

2026年度は、①『医療現場における「おかえりプロジェクト」「活動の質評価法(A-QOA)を用いた多職種連携による認知症作業療法～困難事例を通して学ぶ作業療法士の役割～』、②「地域で広がるOTの認知症支援～初期集中支援チームから刑務所まで～」をテーマに研修を開催予定です。

認知症の人と家族の会との連携事業

認知症の人と家族の会広島支部の若年性認知症のつどい「陽溜まりの会」、広島市主催の認知症カフェ「オレンジアひろば」への会員派遣を継続的にこなっています。2025年度は県内3か所の陽溜まりの会へ計30回、オレンジアひろばへ計11回の会員派遣をおこないました。今年度も継続して会員の派遣をおこなっています。



広報活動

広島県作業療法士会広報部と連携し、会員のみならず、一般の方に向け、SNSを利用した広報活動をおこなっています。また、自治体等で開催される行事に参加し、「認知症」や「作業療法・作業療法士」についての紹介、また相談事業などもこなっています。